『新編 西周全集（第3巻）』訂正表［2026年3月］

◆551頁
・12行目　誤：佐々木愼四郎 → 正：佐々木愼思郎

◆552頁
・3行目　誤：漱脇壽一郎 → 正：瀬脇壽一郎

◆553頁
・9行目　誤：佐々木愼四郎 → 正：佐々木愼思郎

◆772頁
・3行目から10行目を以下に全文差し替え

独和字彙序

従事洋学者於対訳辞書、猶工匠於尺度、大厦高堂、巍然聳天、使人疑神設鬼構者、其始、莫非尺々惟度、寸々惟校之効矣、今繙洋書、或講究之、或翻訳之、語々悉其義、句々尽其意、通章全篇、旨趣貫徹、如此則累籍大冊、亦不為難、而其始也、莫不必由辞書之対訳得其当矣、従来独逸辞書、与邦語対訳者、既有数部、然初学子弟、或苦其未周到、此書風祭甚三郎君、所編纂、周索傍考、既歴年所、其苦心亦可想、則其為裨益於後生晩進、顧為不浅尠矣、雖然、天下之尺度、率極精覈、使拙工用之、棟梁椽桷、輪奐之美幾稀、蓋所謂巧拙者、将有外於尺度而在焉、学者其可不勉乎哉、

明治十六年一月　　従四位　西　周撰

◆824頁
・7行目「主格(subject)」を削除

◆825頁
・6行目「能動(active)」を削除
・最終行　誤：二四〇語・うち通用の語は三一語 → 正：二三八語・うち通用の語は二九語

◆851頁
・11行目　誤：□-□・□音合符（漢音） → 正：□-□・□音合符・右（漢音）
・12行目　誤：□-□・□音合符（呉音）、一部の訓 → 正：□-□・□音合符・左（呉音・一部の訓読み）
・13行目　誤：訓合符（訓読み） → 正：訓合符・中央（訓読み）

◆874頁
・「八　育英舎則」4行目　誤：愼四郎 → 正：愼[ママ]四郎

◆876頁
・11行目　誤：愼[ママ]思郎 → 正：愼思郎

◆879頁
・後から2行目　誤：井沢修二 → 正：伊沢修二

◆903頁
・9行目　誤：相澤英次郎 → 正：大久保利謙
・11行目　誤：西の直筆 → 正：相澤英次郎による写本

◆944頁
・最終行から945頁1行目

誤：荒木卓爾の名は、「西周文書」の「以呂波別人名録」に、住所（根岸金杉村百六十五番地）と共に載っているが（分類番号一一五、リールNo.12、４２８コマ）、その余のことは不明である。

正：荒木卓爾の名は「育英舎則」（本巻５５２頁）に見え、育英舎の塾生だったことが知られ、「以呂波別人名録」にも住所（根岸金杉村百六十五番地）と共に載っている（分類番号一一五、リールNo.12、４２８コマ）。

◆９４８頁

・7行目から9行目

誤：旧全集の解説にもある通り、刊本の所在及び著者についての詳細は不明であるが、「以呂波別人名録」（分類番号一一五、リールNo.12、４２９コマ）に佐久間の名と以下の記述が見られる「福井師範学校教員 福井錦上町 佐久間正 元若代鋭門」。

正：刊本の所在については不明であるが、著者について「以呂波別人名録」（分類番号一一五、リールNo.12、４２９コマ）に以下の記述が見られる。「福井師範学校教員 福井錦上町 佐久間正 元若代鋭門」。著者は沼津兵学校に留学した福井藩士で、その略歴は樋口雄彦『沼津兵学校の研究』（吉川弘文館、２００７）６０７頁に掲載されている。

◆９６４頁

・4行目　**誤：**二字漢語　二四〇語　三一語　一二・九％　**→正：**二字漢語　二三八語　二九語　一二・二％

・7行目　**誤：**一三～二〇％　**→正：**一二～二〇％

◆９８２頁

・後ろから7行目　**誤：**追加掟者　**→正：**追加掟書

◆人名索引４頁

・「さ」項　**誤：**佐々木愼四郎　**→正：**佐々木愼思郎

・「せ」項に「瀬脇壽一郎　５５２」挿入

・「そ」項　「漱脇壽一郎」削除